

第36号

平成29年2月発行

かごし

グリーン目記コンテスト



グリーン日記コンテスト、今年度参加者の30校 1,850名の中から、最優秀賞10名・優秀賞30名・ 学校賞5校が決定しました。受賞者の皆様、おめでと うございます。

お子様の活動のみならず、家族全員で節電等に 取り組まれる姿は大変印象深いものでした。参加 者の皆様の環境への良い取組は、きっと今も続いて いると思います。この取組が皆様の家庭の省エネの 一助になれば幸いです。

★学校賞5校★

- ★奄美市立朝日中学校 様 ★池田学園池田小学校 様
- ★出水市立荘中学校 様 ★出水市立野田中学校 様
- ★南大隅町立第一佐多中学校 様

なんと!プール2つ分の002



平成28年度グリーン日記参加世帯の家庭のうち、集計が可能な752世帯を対象に二酸化炭素の排出量を計算したところ、7月、8月の2ヶ月間で1世帯当たり1,239kg-CO₂でした。

(25mプール約2つ分に相当)

プールの大きさ 横12m 縦25m 深さ1m ★1,239kg-C02を 体積にすると631m³

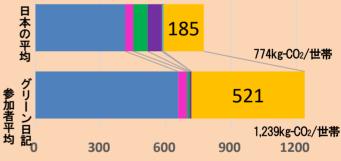
これは、日本の平均のおよそ1.6倍に相当します。日本の平均と比較し、ガソリンからの排出量が約2.8倍になっています。公共交通機関が発達していない地域の特性を表しているといえます。また、夏場は電気の使用量が増加する傾向にあり、その影響も反映されているといえます。

出典)温室効果ガスインベントリオフィス 家庭からの二酸化炭素排出量(世帯当たり、燃料種別(2014年度)

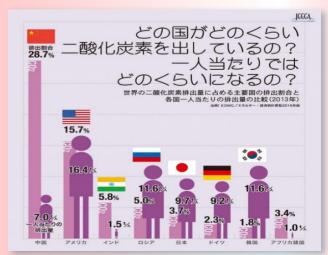
◆推進員の新任・辞退届について◆

新しく推進員になりたい方、推進員を辞退される方などがございましたら、お住まいの自治体の環境関連課もしくは鹿児島県地球温暖化対策課(099-286-2586)までご連絡ください。

2か月間(7月・8月)における平均排出量



■電気 ■LPガス ■都市ガス ■灯油 ■軽油 ■ガソリン



出典) EDMC/エネルギー・経済統計要覧2016年版 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(http://www.jccca.org/)より

環境家計簿集計結果について

6月から8月にかけ、推進員の皆さまに作成いただいた環境家計簿の集計結果をご報告します。 皆様のご協力により、夏期における鹿児島県内 の家庭からの二酸化炭素が、何からどれだけ出 ているのか、光熱費として何にどれだけ掛かって いるのか分かりました。

夏期3か月間における、参加世帯のCO2排出量の平均値は約1,913kg-CO2でした。昨年と同様、車燃料による排出割合が減りましたが全国平均より大きい値となっています(昨年度の車燃料割合35%)。また、電気による排出割合は昨年度より大きく増えました(昨年度の電気割合58%)。

毎年このような方法で皆さまのご家庭からのCO2 排出量の調査を行っております。参加者が増えることで、より正確なデータを得られることとなります。光熱費を10%分節約できれば、1年で約40,000円の家計を助けることとなります。まずは結果を見ることで振り返り、よりエコな暮らしに取り組んでみてはいかがでしょうか。

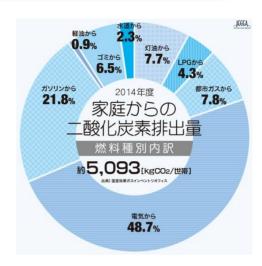
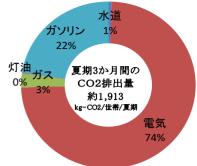
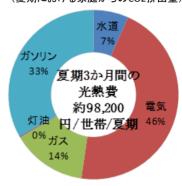


図:2014年度家庭からの二酸化炭素排出量出典)温室 効果ガスインベントリオフィス 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (http://www.jccca.org/)より

図: 平成28年度 鹿児島県における 夏期環境家計簿調査結果(n=39)



(夏期における家庭からのCO2排出量)



(夏期における光熱費)

低炭素杯2017m 圆缀赤-ル

有限会社尾塚水産 機 出場!

次世代に向けた低炭素社会の構築を目指すコンテスト!

2月16日に東京・大手町の日経ホールにおいて「低炭素杯2017」が開催されました。当日は、全国各地から26団体(応募総数951団体)が参加し、鹿児島県からは『有限会社尾塚水産』様が出場。

うに殻を使った加工品など持ち込み工夫を凝らした舞台となりました。10年以上地域に根付いていることや行政と一体となって実施する活動は審査員来場者ともに高い評価をいただきました。

有限会社尾塚水産のみなさまの益々のご活躍を祈念いたします。

◆有限会社尾塚水産の取組◆

ウニ殻アートによる磯焼け防止

従来、ウニの加工工程で排出されるウニ殻や、磯焼け防止のために駆除したウニなどは野積みや埋没処理され、 少なからぬ公害源になっていた。有限会社尾塚水産はこれらのウニ殻を焼成してカルシウム剤を製造する一方、ウ ニ殻から工芸品も開発し、収益を生むことに成功している。

そして、この収益の一部を還元してウニ駆除活動を支援するとともに、工芸品の展示や体験学習の機会を通じて、海の環境を守ることへの啓蒙に努めている。



本紙作成に伴い発生する温室効果ガス(紙の使用)については, 県内の森林整備による吸収量 (かごしまエコファンド)を購入し, カーボン・オフセットしています

【お問い合わせ】

推進員通信Vol. 36

編集•発行

鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター (一般財団法人 鹿児島県環境技術協会) 〒891-0132 鹿児島市七ツ島一丁目1番地5

電話:099-284-6013 FAX:099-284-6257

